

高等学校 令和8年度（4学年用） 教科

国語

科目 論理国語

教科： 国語

科目： 論理国語

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 4 学年 A 組～ C 組

教科担当者：

使用教科書： （ 大修館書店『論理国語』 ）

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 論理国語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
現代文のさまざまな文章に触れ、言語感覚を磨き、言語と文化の関係を理解する。	文章読解を通して適切かつ効果的に表現する能力を育成し、思考力や想像力を伸ばす。	身につけた知識や思考力を用いて進んで表現することによって社会生活の充実を図る。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	学	配当 時数
			話・ 聞	書	読					
1 学 期	A 単元 日本語の多様性 【知識及び技能】 現代文のさまざまな文章に触れ、言語感覚を磨き、言語と文化の関係を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 文章読解を通して適切かつ効果的に表現する能力を育成し、思考力や想像力を伸ばす。 【学びに向かう力、人間性等】 身につけた知識や思考力を用いて進んで表現することによって社会生活の充実を図る。	・指導事項 話すこと・聞くこと、書くこと、読むこと ・教材 「方言コスプレ」現象 ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	【知識及び技能】 現代文のさまざまな文章に触れ、言語感覚を磨き、言語と文化の関係を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 文章読解を通して適切かつ効果的に表現する能力を育成し、思考力や想像力を伸ばしている。 【学びに向かう力、人間性等】 身につけた知識や思考力を用いて進んで表現することによって社会生活の充実を図ろうとしている。	○	○	○	12
	定期考査					○	○	○	1	
	B 単元 自己と他者 【知識及び技能】 現代文のさまざまな文章に触れ、言語感覚を磨き、言語と文化の関係を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 文章読解を通して適切かつ効果的に表現する能力を育成し、思考力や想像力を伸ばす。 【学びに向かう力、人間性等】 身につけた知識や思考力を用いて進んで表現することによって社会生活の充実を図る。	・指導事項 話すこと・聞くこと、書くこと、読むこと ・教材 「贈り物」としてのノブレス・オブリージュ ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	【知識及び技能】 現代文のさまざまな文章に触れ、言語感覚を磨き、言語と文化の関係を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 文章読解を通して適切かつ効果的に表現する能力を育成し、思考力や想像力を伸ばしている。 【学びに向かう力、人間性等】 身につけた知識や思考力を用いて進んで表現することによって社会生活の充実を図ろうとしている。	○	○	○	13
定期考査						○	○	○	1	

2 学 期	C単元 自己と他者 【知識及び技能】 現代文のさまざまな文章に触れ、言語感覚を磨き、言語と文化の関係を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 文章読解を通して適切かつ効果的に表現する能力を育成し、思考力や想像力を伸ばす。 【学びに向かう力、人間性等】 身につけた知識や思考力を用いて進んで表現することによって社会生活の充実を図る。	・指導事項 話すこと・聞くこと、書くこと、読むこと ・教材 人はなぜ贈与するのか ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	【知識及び技能】 現代文のさまざまな文章に触れ、言語感覚を磨き、言語と文化の関係を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 文章読解を通して適切かつ効果的に表現する能力を育成し、思考力や想像力を伸ばしている。 【学びに向かう力、人間性等】 身につけた知識や思考力を用いて進んで表現することによって社会生活の充実を図ろうとしている。	○	○	○	14
	定期考査						○	○	○	1
	D単元 コミュニケーションの手段 【知識及び技能】 現代文のさまざまな文章に触れ、言語感覚を磨き、言語と文化の関係を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 文章読解を通して適切かつ効果的に表現する能力を育成し、思考力や想像力を伸ばす。 【学びに向かう力、人間性等】 身につけた知識や思考力を用いて進んで表現することによって社会生活の充実を図る。	・指導事項 話すこと・聞くこと、書くこと、読むこと ・教材 ネットワーク上のコミュニケーション ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	【知識及び技能】 現代文のさまざまな文章に触れ、言語感覚を磨き、言語と文化の関係を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 文章読解を通して適切かつ効果的に表現する能力を育成し、思考力や想像力を伸ばしている。 【学びに向かう力、人間性等】 身につけた知識や思考力を用いて進んで表現することによって社会生活の充実を図ろうとしている。	○	○	○	17
定期考査							○	○	○	1
3 学 期	E単元 政治と社会 【知識及び技能】 現代文のさまざまな文章に触れ、言語感覚を磨き、言語と文化の関係を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 文章読解を通して適切かつ効果的に表現する能力を育成し、思考力や想像力を伸ばす。 【学びに向かう力、人間性等】 身につけた知識や思考力を用いて進んで表現することによって社会生活の充実を図る。	・指導事項 話すこと・聞くこと、書くこと、読むこと ・教材 多数決を疑う ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	【知識及び技能】 現代文のさまざまな文章に触れ、言語感覚を磨き、言語と文化の関係を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 文章読解を通して適切かつ効果的に表現する能力を育成し、思考力や想像力を伸ばしている。 【学びに向かう力、人間性等】 身につけた知識や思考力を用いて進んで表現することによって社会生活の充実を図ろうとしている。	○	○	○	17
	定期考査						○	○	○	1
計										78

高等学校 令和8年度（4学年用） 教科 地理歴史 科目 地歴考究

教科：地理歴史 科目：地歴考究 単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 A組 C組

教科担当者：

使用教科書：（歴史総合 近代から現代へ 山川出版社 ・ 高校生の地理総合 帝国書院 ）

教科 地理歴史 の目標：

- 【知識及び技能】世界と日本について、地勢と地勢から展開する歴史を、総合的にとらえて基礎的知見を得る。
- 【思考力、判断力、表現力等】上記で獲得した基礎的知見を、世界と日本について、地勢と地勢から展開する歴史を、多面的・多角的に考察する。
- 【学びに向かう力、人間性等】上記をふまえて、現代に通暁する諸課題を認識し、自身の問題として自覚化し、より良い社会の一員となることを目指す。

科目 地歴考究 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
世界と日本について、地勢と地勢から展開する歴史を、総合的にとらえて基礎的知見を得る。	左記で獲得した基礎的知見を、世界と日本について、地勢と地勢から展開する歴史を、多面的・多角的に考察する。	左記をふまえて、現代に通暁する諸課題を認識し、自身の問題として自覚化し、より良い社会の一員となることを目指す。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	A単元「地理の基礎と日本の地勢」 【知識及び技能】 地理学や地図の基礎を学び、日本の地勢、課題について理解する。 【思考力・判断力・表現力等】 地理学や地図、日本の地勢、課題について適切な資料を用いて多面的・多角的に考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 地理学や地図、日本の地勢、課題について探究し、自身と関連付けて考える。	・指導事項 1 地理学・地図 2 都道府県 3 温泉・祭り・焼き物 4 日本地理・地形① 5 日本地理・地形② 6 日本の課題（少子高齢化、震災）	【知識・技能】 地理学や地図の基礎、日本の地勢、課題について理解しているか。 【思考・判断・表現】 地理学や地図、日本の地勢、課題について適切な資料を用いて多面的・多角的に考察しているか。 【学びに向かう力、人間性等】 地理学や地図、日本の地勢、課題について探究し、自身と関連付けて考えようとしているか。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
	B単元「世界の地勢」 【知識及び技能】 地理学や地図の基礎を学び、日本の地勢、課題について理解する。 【思考力・判断力・表現力等】 地理学や地図、日本の地勢、課題について適切な資料を用いて多面的・多角的に考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 地理学や地図、日本の地勢、課題について探究し、自身と関連付けて考える。	・指導事項 7 世界地理・地形① 8 世界地理・地形②、世界遺産 9 世界の主な国①アメリカ・ヨーロッパ 10 世界の主な国②アジア・アフリカ 11 国旗	【知識・技能】 世界の国や地形、国旗について理解しているか。 【思考・判断・表現】 世界の国や地形、国旗について適切な資料を用いて多面的・多角的に考察しているか。 【学びに向かう力、人間性等】 世界の国や地形、国旗について探究し、自身と関連付けて考えようとしているか。	○	○	○	17
定期考査			○	○		1	
2 学期	C単元「様々な業種と地球的課題」 【知識及び技能】 地理学や地図の基礎を学び、日本の地勢、課題について理解する。 【思考力・判断力・表現力等】 地理学や地図、日本の地勢、課題について適切な資料を用いて多面的・多角的に考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 地理学や地図、日本の地勢、課題について探究し、自身と関連付けて考える。	・指導事項 1 2環境（地球温暖化、原子力問題、エネルギー・新資源） 1 3経済用語、経済論・経済史 経済協定 1 4宇宙開発、建設・住宅、自動車・運輸サービス 1 5流通・商社・アパレル、サービス（旅行・ホテル）	【知識・技能】 身の回りにおける様々な業種や私たちが直面している環境問題について理解しているか。 【思考・判断・表現】 身の回りにおける様々な業種や私たちが直面している環境問題について適切な資料を用いて多面的・多角的に考察しているか。 【学びに向かう力、人間性等】 身の回りにおける様々な業種や私たちが直面している環境問題について探究し、自身と関連付けて考えようとしているか。	○	○	○	17
	定期考査			○	○		1
	D単元「日本と世界の歴史と現代課題」 【知識及び技能】 地理学や地図の基礎を学び、日本の地勢、課題について理解する。 【思考力・判断力・表現力等】 地理学や地図、日本の地勢、課題について適切な資料を用いて多面的・多角的に考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 地理学や地図、日本の地勢、課題について探究し、自身と関連付けて考える。	・指導事項 1 6世界史①・世界史②（革命・戦争含む） 1 7日本史①・日本史②（歴代首相・戦後日本の政治経済史含む） 1 8アジア・アフリカ（中国・韓国・北朝鮮・中東情勢、北方領土問題、国際紛争・地域紛争含む） 1 9アメリカ・ヨーロッパ（EU含む）	【知識・技能】 日本と世界の歴史や現代的課題について理解しているか。 【思考・判断・表現】 日本と世界の歴史や現代的課題について適切な資料を用いて多面的・多角的に考察しているか。 【学びに向かう力、人間性等】 日本と世界の歴史や現代的課題について探究し、自身と関連付けて考えようとしているか。	○	○	○	14
定期考査			○	○		1	
3 学期	E単元「国際協力と平和・文化」 【知識及び技能】 地理学や地図の基礎を学び、日本の地勢、課題について理解する。 【思考力・判断力・表現力等】 地理学や地図、日本の地勢、課題について適切な資料を用いて多面的・多角的に考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 地理学や地図、日本の地勢、課題について探究し、自身と関連付けて考える。	・指導事項 2 1国連のしくみ 2 2条約・協定・宣言 2 3軍縮・平和安全法制 2 4社会・生活、建築・美術、伝統芸能、時事英語	【知識・技能】 国連のしくみや国際法、日本や世界の文化について理解しているか。 【思考・判断・表現】 国連のしくみや国際法、平和安全法制、日本や世界の文化について適切な資料を用いて多面的・多角的に考察しているか。 【学びに向かう力、人間性等】 国連のしくみや国際法、平和安全法制、日本や世界の文化について探究し、自身と関連付けて考えようとしているか。	○	○	○	17
	定期考査			○	○		1
							合計
							78

高等学校 令和8年度（4学年用） 教科 公民 科目 公民考究

教科：公民 科目：公民考究 単位数：2 単位

対象学年組：第4学年 A組・C組

教科担当者：

使用教科書：（実教出版 最新 政治・経済 ）

教科 公民 の目標：

- 【知識及び技能】 選択・判断の手がかりとなる概念や理論及び、倫理、政治・経済などに関わる現代の諸課題について理解するとともに諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 現代の諸課題について、事実をもとに概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したりする力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度と自国を愛しその平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚を深める。

科目 公民考究 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手がかりとなる概念や理論などについて理解するとともに、諸資料から社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して、現実社会に見られる複雑な課題を把握し、説明するとともに、身に付けた判断基準を根拠に構想する力や、構想したことの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し公正に判断して、合意形成や社会参画に向かう力を養う。	よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、我が国及び国際社会において国家及び社会の形成に、より積極的な役割を果たそうとする自覚などを深める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
A 単元 「現代国家と民主政治」 【知識及び技能】 ・基本的人権の歴史的発展や法の支配について理解する。 ・民主政治のしくみと課題を理解したうえで、権力分立と立憲主義の重要性を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・政治、国家、法のあり方について考える。 ・基本的人権の保障はどのように拡大していったのか考える。 ・世界の国々が採用している議院内閣制と大統領制には、民主政治の諸原理がどのように反映されているのか考える。 【学びに向かう力、人間性等】 ・国民主権や議会制民主主義をニュースで起こっていることと結び付けようとする。	・指導事項 ①民主政治と法 ②民主政治の基本原則 ③民主政治のしくみと課題 ④世界のおもな政治制度 ・教材 教科書、一人1台端末	【知識・技能】 ・法の意義と役割のほか、法の分類についても理解している。 ・基本的人権の歴史的発展について理解している。 ・議院内閣制・大統領制をはじめとする各国の政治制度の特徴について、民主政治の諸原理にも着目しながら理解している。 【思考・判断・表現】 ・政治とはどのような営みか、自身の身近な事例にも言及しながら考察し、適切に表現している。 ・基本的人権や法の支配の重要性について、歴史的背景にも言及しながら考察し、それらを適切に表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・国民主権を担う公民としての自覚をもとに、民主政治のあり方や法の意義などについて主体的に理解・追究しようとしている。 ・国民主権を担う公民としての自覚をもとに、現実の政治制度に関する課題について主体的に理解・追究しようとしている。	○	○	○	13
定期考査			○	○	○	1
1 学期 B 単元 「日本国憲法と基本的人権」 【知識及び技能】 ・日本国憲法の成立過程を踏まえつつ、明治憲法との違いを理解する。 ・自由権の内容について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・日本国憲法の基本原則を理解したうえで、憲法の改正手続きについて考える。 【学びに向かう力、人間性等】 ・日本国憲法が保障する基本的人権のうち、精神の自由について身近な例と結び付けて考える。 ・現代社会にはどのような差別があり、どのような対処がなされているのかニュースなどから見つける。	・指導事項 ①日本国憲法の成立 ②日本国憲法の基本原則 ③自由に生きる権利(1) ④自由に生きる権利(2) ⑤平等に生きる権利 ・教材 教科書、一人1台端末	【知識・技能】 ・日本国憲法の成立過程を理解している。 ・諸外国の憲法に関連する諸情報を信頼性の高い情報源から収集し、知識の補強といった形で適切に扱うことができている。 ・自由権・平等権と関連する判例（教科書掲載外の判例）を信頼性の高い情報源から収集し、それぞれ適切に分類・整理したうえで、知識の補強といった形で適切に扱うことができている。 【思考・判断・表現】 ・自由権、平等権について、各種判例や自身の身近な事例などと結びつけながら協働的に考察し、適切に表現している。 ・差別を解消すべき理由について、『公共』で学んだ「人間の尊厳」や「個人の尊重」といった視点に立ちながら、適切に表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・憲法の最高法規性や日本国憲法の原理、改正手続きなどについて主体的に理解・追究しようとしている。 ・日本国憲法の三大基本原則が私たちの人権や政治に果たしている役割について関心を高め、主体的に追及しようとしている。 ・基本的人権が保障されていることの意義を知り、関心が高まっている。また、例えば平等権と社会的な差別の諸課題について多面的かつ主体的に考察し、よりよい社会の実現を視野に、学習したことを社会の改善に生かそうとしている。	○	○	○	12
定期考査			○	○	○	1

2 学 期	<p>Ⅱ 単元 「日本国憲法と基本的人権」</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会権の内容について理解する。 ・新しい人権について理解する。 ・公共の福祉について理解する。 ・日本の安全保障政策の展開について理解する。 ・今日の安全保障政策の課題について理解する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会権にはどのような権利があり、どのように保障されているか判例をもとに考える。 ・参政権、請求権にはどのような権利があるか判例をもとに考える。 ・平和憲法のもと、どのようにして自衛隊は創設され、活動範囲をひろげてきたのか、その背景を考える。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人権と人権が衝突した場合、どのように調整すべきか、身近な事例を基に考えを深める。 ・徹底した平和主義をかかげる日本が、今後世界で求められることは何かグループワークを通じて意見交換をする。 	<p>・指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ⑥社会権と参政権・請求権 ⑦新しい人権 ⑧人権の広がりや公共の福祉 ⑨平和主義と自衛隊 ⑩日米安全保障体制の変化 ⑪21世紀の平和主義 <p>・教材 教科書、一人1台端末</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・冤罪や死刑制度、さまざまな差別、生存権の保障など、人権に関する現実社会の課題について理解している。 ・社会権と関連する判例（教科書掲載外の判例）を信頼性の高い情報源から収集し、それぞれ適切に分類・整理したうえで知識の補強といった形で適切に扱うことができている。 ・環境権・知る権利・プライバシーの権利などの新しい人権の内容とそれらの権利が主張されるようになった背景について理解している。 ・社会的権力による人権侵害の課題や人権の国際化の動き、公共の福祉について理解している。 ・公共の福祉の具体的な事例を信頼性の高い情報源から収集し、知識の補強といった形で適切に扱うことができている。 ・日本国憲法の平和主義の内容と日米安保体制がうまれた背景について理解している。 ・1990年代以降の安全保障体制の変容と今日の課題について理解している。 ・日本の安全保障をめぐる現状と課題、自衛隊の海外活動の現状といった諸情報を信頼性の高い情報源から収集し、知識の補強といった形で適切に扱うことができている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会権について、各種判例や自身の身近な事例などと結びつけながら協働的に考察し、適切に表現している。 ・差別を解消すべき理由について、『公共』で学んだ「人間の尊厳」や「個人の尊重」といった視点に立ちながら、適切に表現している。 ・社会権の保障（すべての人が人間らしい生活を送れるようにするために国がすべきことは何か、など）について、協働的に考察し、適切に表現している。 ・知る権利の内容理解を踏まえたうえで、「忘れられる権利の是非」について多面的に考察し、適切に表現している。 ・現実社会の問題の解決と個人の権利との調整について、生徒自らが調べて収集した具体的な事例にもとづきながら協働的に考察し、適切に表現している。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本的人権が保障されていることの意義を知り、関心が高まっている。また、平等権と社会的な差別の諸課題について多面的かつ主体的に考察し、よりよい社会の実現を視野に学習したことを社会の改善に生かそうとしている。 ・新しい人権について主体的に追究して、学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。 ・公共の福祉について主体的に追究することを通して、個人と個人の権利の衝突を調整の方法を社会生活に生かそうとしている。 ・集団的自衛権について関心が高まっており、集団的自衛権が他国との関係でどのような影響を及ぼしうるかについて主体的に検討しようとしている。 ・我が国の安全保障と防衛について主体的に追究して、学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。 	○	○	○	16
	定期考査			○	○	○	1

<p>④ 単元 「日本の政治制度と政治参加」</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国会の役割や権限について理解する。 ・内閣の権限と議院内閣制について理解する。 ・司法制度のあり方や司法参加の意義について理解する。 ・地方自治の本旨や住民の権利について理解する。 ・地方がかかえる課題について理解する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政の民主化に必要なことは何かを考える。 ・司法権の独立はなぜ重要か考える。 ・日本の地方自治はどのような財政上の課題があるか考える。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国会の地位・役割・構成・権限について、新聞やニュースで伝えられていることと関連付けられるようにする。 ・司法制度改革にはどのようなものがあるか、新聞やニュースなどから情報を集める。 	<p>・指導事項</p> <ol style="list-style-type: none"> ①政治機構と国会 ②内閣と行政機関の拡大 ③公正な裁判の保証 ④地方自治と住民福祉 <p>・教材 教科書、一人1台端末</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国会の役割や権限、運営について理解している。 ・内閣の権限や議院内閣制のしくみについて理解している。 ・行政改革の現状、日本各地のオンブズマンの活動状況といった諸情報を信頼性の高い情報源から収集し、知識の補強といった形で適切に扱うことができている。 ・司法権の独立や裁判のしくみ、各裁判所の役割について理解している。 ・違憲審査権について理解している。 ・裁判員制度や検察審査会の意義と役割について理解している。 ・司法制度改革の現状と課題について、信頼性の高い情報源から収集し、適切に整理することができる。 ・地方自治の本旨である、団体自治と住民自治について理解している。 ・地方自治の政治・経済的な課題について理解している。 ・住民自治に基づく住民の権利や住民投票など、住民の意思を反映させる手段について理解している。 ・身近な地域の人口動向や防災面での課題について、信頼性の高い情報源から収集し、適切に整理することができる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・裁判員制度の意義と課題について協働的に考察し、適切に表現している。 ・違憲審査権の行使について、2つの観点（消極的観点：裁判所は直接国民を代表する機関ではないので、代表者からなる国会の定めた法律の違憲審査には消極的であるべきである／積極的観点：多数決による政治で無視されがちな少数者の権利を救済できるのは裁判所以外にないのだから、違憲の法律による権利侵害に対しては積極的に違憲審査すべきである）を踏まえながら考え、適切に表現している。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本の政治機構について主体的に追究して、学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。 ・行政権の拡大について関心を深めており、官僚政治と官邸主導のそれぞれの長所と短所について主体的に追求しようとしている。 ・司法制度のあり方や司法参加の意義について主体的に追究して、学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。 ・地方がかかえる課題の概要を理解したうえで、身近な地域の人口動向や防災面での課題、東京圏への一極集中といった主題に興味関心をもち、人口動向が地域に与える影響や一極集中にともなう課題の解決策などを積極的に追究しながら、「持続可能な地域社会のあり方」や「地域における防災」を探究するための意欲を高めている。 	○	○	○	15
定期考査			○	○	○	1

3 学 期	<p>C 単元 「日本の政治制度と政治参加」</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本の政党政治の特徴と課題について理解する。 日本の選挙制度の特徴と課題について理解する。 マス・メディアや市民運動の意義について理解する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 戦後日本の政党政治はどう変遷してきたのか、政党政治にはどのような課題があるか考える。 日本の選挙制度の課題にはどのようなものがあるか考える。 メディアの責任とは何か、自分の意見をまとめ、発表する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 政党政治にはどのような課題があるか、新聞やニュースなどから情報を収集する。 投票率が上昇するためにはどうしたらよいか自分ごととして考える。 	<p>・指導事項</p> <p>⑤政党政治 ⑥選挙制度 ⑦世論と政治参加</p> <p>・教材</p> <p>教科書、一人1 台端末</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 政党政治や日本の政党政治の課題について理解している。 日本の選挙制度の種類とそれぞれの特徴、議員定数の不均衡などの課題について理解している。 選挙制度の課題、政治活動に関する規制の現状について信頼性の高い情報源から収集し、適切に整理することができる。 マス・メディアや市民運動が世論形成と政治にもたらす影響について理解している。 政治的無関心や無党派層の増加などの課題について理解している。 民意を国政に反映させる多様な方法について、信頼性の高い情報源から収集し、適切に整理することができる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本の政党政治の課題について、「政治資金」や「政党間の競争」といった観点から考え、適切に表現している。 SNSやインターネットの普及が世論形成に与えるメリットとデメリットについて多面的に考察し、適切に表現している。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 政党の変遷について主体的に追究して、なぜ離合集散が繰り返されるのかといった観点から政党政治の課題を意欲的に解決しようとしている。 選挙制度について関心を深めており、デジタル時代の選挙のあり方の課題を意欲的に解決しようとしている。 政治と民意の関係について主体的に追究し、民意を政治に反映させるための課題を意欲的に解決しようとしている。 政治参加と公正な世論の形成について主体的に追究して、学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。 	○	○	○	17	
	定期考査				○	○	○	1
							合計	78

高等学校 令和8年度（4学年） 教科

理科

科目 教養科学

教科：理科

科目：教養科学

単位数：2 単位

対象学年組：第 4 学年 A 組～

C 組

教科担当者：

使用教科書：（ 数研出版 科人704 『科学と人間生活』

教科 理科

の目標：

【知識及び技能】

自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】

自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 教養科学

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
科学技術の発展の人間生活への貢献、身近な事物・現象を通しての現代の人間生活と科学技術の関連性についての知識を身に付け、これからの科学技術と人間生活のあり方について理解できている。 また、身近な事物・現象に関する観察、実験の技能を習得するとともに、それらを科学的に探究する方法を身に付ける。	tyuke	身近な事物・現象に関心や探究心をもち、科学的な視点・考察力を養うとともに、科学技術に対する関心を高める態度を身に付ける。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	学	配当 時数
<p>第2編1章 生命現象の大本となる遺伝子のはたらき</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> DNAの構造や遺伝子とDNAとの関係について理解する。 タンパク質はアミノ酸がつながってできていることを理解する。 DNAの塩基配列からタンパク質がつけられる過程について考え、理解する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 転写と翻訳について自分なりの表現で説明する。 タンパク質によってアミノ酸の並び方を予想できる。 ヒトの体内には多くの種類のタンパク質があり、それぞれ、さまざまなはたらきをもっていることを説明できる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 親の形や性質などの特徴が子や孫に現れることがあることを想起し、遺伝について問題を見いだそうとする。 	<p>【指導事項】</p> <p>A 遺伝子とDNA</p> <ul style="list-style-type: none"> DNAの構造 遺伝子とDNAの関係 ＜観察・実験2＞DNAの抽出 <p>B DNAの遺伝情報からタンパク質へ</p> <ul style="list-style-type: none"> タンパク質をつくるアミノ酸 転写と翻訳 <p>C 体内ではたらくタンパク質</p> <ul style="list-style-type: none"> さまざまなタンパク質 学習内容の整理 章末確認テスト <p>【教材】</p> <ul style="list-style-type: none"> 教科書 授業プリント 一人1台端末 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 安全面や衛生面に留意して実験を行い、抽出したDNAについて、スケッチや文章で適切に記録している。〔行動観察・記録分析〕 DNAの構造や遺伝子とDNAとの関係について理解している。〔記述分析〕 DNAの塩基配列を基にヒトの体内でタンパク質がつけられる過程について理解している。〔発言分析〕 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学んだことを生かして、転写と翻訳を経て体内でタンパク質がつけられる過程について、自らの言葉で表現しようとしている。〔発言分析・行動観察〕 ヒトの体内には多くの種類のタンパク質があり、それぞれ、生命活動に重要な役割を果たしていることを理解している。〔発言分析・記述分析〕 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 視覚、血糖濃度の調節、免疫、遺伝子のはたらきについて、人間生活と関連付けて考えようとしている。〔発言分析・記述分析〕 	○	○	○	11
定期考査			○	○	○	1
<p>1 学期</p> <p>材料とその利用</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 予防接種の意味を考え、予防接種で感染症を予防する仕組みについて理解する。 免疫とリンパ球のはたらきについて理解する。 免疫反応によってアレルギーが引き起こされることがあることを理解する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 抗原抗体反応の仕組みと特徴について説明できる。 免疫記憶、一次応答と二次応答の血液中の抗体濃度の変化のデータを基に、免疫記憶の利点について考察する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> うがいや手洗いの重要性について考え、病原体から体を守るための仕組みについて問題を見いだす。 	<p>【指導事項】</p> <p>A 感染症から体を守るしくみ</p> <ul style="list-style-type: none"> 免疫を支えるリンパ球 B細胞としてはたらく抗体 抗原抗体反応の特徴 免疫記憶 ＜実習2＞免疫記憶の利点を考えよう <p>B 免疫のしくみと日常生活</p> <ul style="list-style-type: none"> 予防接種で感染症予防のしくみ 免疫反応で起こるアレルギー <p>【教材】</p> <ul style="list-style-type: none"> 教科書 授業プリント 一人1台端末 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 免疫の仕組みとしての抗原抗体反応や免疫記憶、それらを利用した治療法について理解している。〔発言分析・記述分析〕 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 一次応答と二次応答の血液中の抗体濃度の変化のグラフを読み取り、科学的に考察して、免疫記憶の利点を見だし、表現している。〔発言分析・記述分析〕 はしかの予防接種の効果について、データを基に科学的に考察して見だし、表現している。〔発言分析・記述分析〕 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 予防接種で感染症を予防する仕組みや免疫反応によるアレルギーについて理主体的に調べようとしている。〔発言分析・記述分析〕 	○	○	○	14
定期考査			○	○	○	1

2 学 期	<p>微生物とその利用</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 私たちの身のまわりには無数の微生物が存在することを実験を通して理解できている。 微生物には特徴の異なるさまざまな生物が含まれることを理解できている。 目に見えない微生物の存在を認識するに至った科学史を理解できている。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 発酵食品の生産には微生物が利用されることを、食品中の微生物の観察を通して考えさせる。 乳酸発酵とアルコール発酵が起こる際の反応を理解できているとともに、それぞれを利用してつくられる発酵食品について学習させる。 ワクチンや抗生物質などがどのような物質であるのかを理解できているとともに、それらの医薬品の生産に微生物が利用されていることを学習させる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 分解者としての微生物のはたらきを理解できている。 炭素や窒素の循環の概要とそれに関わる微生物の役割を理解できている。 微生物による分解によって自然浄化が行われていることや、微生物の分解能力を利用した浄化が試されていることを学習させる。 	<p>【指導事項】</p> <p>A 身のまわりの微生物</p> <ul style="list-style-type: none"> 微生物とその発見の歴史 発酵食品への微生物の利用 乳酸発酵とアルコール発酵 <p>B 医薬品への微生物の利用</p> <ul style="list-style-type: none"> 生態系における微生物 環境の浄化と微生物 <p>【教材】</p> <ul style="list-style-type: none"> 教科書 授業プリント 一人1台端末 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 微生物の生息場所や種類について理解できている。 微生物に関わる一連の科学史を理解できている。 発酵および発酵食品について理解できている。 乳酸発酵およびアルコール発酵について理解できている。 ワクチンや抗生物質などの医薬品の製造に微生物が関わっていることを理解できている。 炭素循環と窒素循環に微生物が関わっていることを理解できている。 汚水や環境の浄化に微生物が利用されていることを理解できている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 微生物を培養する実験から、微生物が生息する場所について考察できる。 微生物の科学史についての学習を通して、目に見えない微生物を調べる方法について考察できる。 発酵食品に含まれる微生物の観察を通して、発酵食品と微生物との関わりについて考察できる。 アルコール発酵の実験を通して、アルコール発酵の反応について説明できる。 土壌中の微生物を確認する実験を通して、生態系における微生物の役割を説明できる。 活性汚泥の観察を通して、下水処理のしくみについて説明できる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 微生物が人間生活のさまざまな場面に役立っていることを意欲的に理解しようとしている。 	○	○	○	10
	定期考査			○	○	○	1
2 学 期	<p>熱の性質とその利用</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 温度は何を表すものなのか理解できている。 熱容量と比熱について理解できている。 電力量と電力の定義について学習させる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 物体をつくる粒子が熱運動をしていることを、実験を通して理解できている。 熱伝導、対流、熱放射では、それぞれどのように熱が伝わるのか理解できている。 物質の三態、融解熱・蒸発熱について、物質をつくる粒子に着目して理解できている。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> エネルギーに関心を持ち、さまざまな種類に分類し考えさせる。 可逆変化と不可逆変化は、それぞれどのような変化なのか考えさせる。 どのような方法で電力を生み出しているか考えさせる。 	<p>【指導事項】</p> <p>A 温度と熱運動</p> <ul style="list-style-type: none"> 熱容量 比熱 熱の伝わり方 <p>B 仕事や電流と熱の発生エネルギー</p> <ul style="list-style-type: none"> 移り変わり 熱エネルギーの利用 エネルギー資源の利用 <p>【教材】</p> <ul style="list-style-type: none"> 教科書 授業プリント 一人1台端末 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> セルシウス温度と絶対温度について理解できている。 熱平衡とはどのような状態か理解できている。 熱量の保存について実験を通して、理解できている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> エネルギーは相互に変換されることを実験を通して考えている。 仕事による熱の発生について、実験を通して考えている。 ジュールの実験にも触れ、仕事と熱量が比例関係にあることを説明できる。 電流の仕事により熱が発生することと、その発熱量はジュールの法則に従うことを説明できる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 熱機関について、実験を通して主体的に学び、得た熱量のすべてを仕事に変えることはできないことを説明しようとしている。 複合サイクル方式やコージェネレーションシステムなど、エネルギーを効率的に利用する技術があることを深く調べ、まとめようとしている。 	○	○	○	12
	定期考査			○	○	○	1
3 学 期	<p>自然景観と自然災害</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地震発生のしくみを理解する。 火山噴火のしくみについて理解する。 マグニチュードと震度の違いを理解する。 風化、侵食、運搬の3作用を理解する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> マグマの性質と溶岩の噴出量によって、火山の大きさや形が変化することを学習させる。 火山活動によって引き起こされる災害について学習させる。 ハザードマップを作成する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 風化・侵食・運搬の作用によって、山地、河川ぞい、平野ではそれぞれ特徴的な地形が形成されることを理解しようとする。 土砂災害を引き起こす現象の種類と危険性の高い地形との関係について理解しようとする。 	<p>【指導事項】</p> <p>A 日本列島とプレート</p> <ul style="list-style-type: none"> 地震のしくみと地震活動 地震による災害 マグマがつくる火山と景観 <p>B 火山がもたらす恵みと災害</p> <ul style="list-style-type: none"> 水のはたらきと自然景観 土砂災害と洪水 <p>【教材】</p> <ul style="list-style-type: none"> 教科書 授業プリント 一人1台端末 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地震発生のしくみを理解できている。 火山噴火のしくみについて理解できている。 マグニチュードと震度の違いを理解できている。 風化、侵食、運搬の3作用を理解できている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本列島がプレート境界に位置することから、プレート境界に沿って多くの地震が発生することを説明できる。 プレートの運動によって高くなった山は、流れる水のはたらきによって低くなることを理解できている。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地震によって発生する災害やその危険性について、意欲的に考えようとしている。 火山は災害を引き起こすだけではなく、温泉や鉱物資源など私たちの生活に恵みをもたらしていることを理解しようとしている。 	○	○	○	9
	定期考査			○	○	○	1
3 学 期	<p>課題研究</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>自然や生活の中から疑問を発見させ、そのテーマについて調べていく方法を学ばせる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>調べたことをまとめ、発表する技術と方法を学ばせる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>自分の考えを相手に正しく効果的に伝えることの大切さを考えさせる。</p>	<p>【指導事項】</p> <p>各自、時事的な科学トピックを課題研究し、クラス発表する。</p> <p>【教材】</p> <ul style="list-style-type: none"> 教科書 授業プリント 一人1台端末 	<p>【知識・技能】</p> <p>自然や生活の中から疑問を発見し、そのテーマについて調べ、深く理解する。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>知りえた情報をわかりやすく整理し、原稿にまとめることができる。また、他者に簡潔に説明し、内容を効果的に伝えることができている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>自分の課題に対し、関心を持って調べ、課題解決に向け意欲的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	17
	定期考査			○	○	○	1
合計							78

年間授業計画 新様式例

足立 高等学校 令和8年度（4 学年用） 教科 保健体育 科目 体育

教科： 保健体育 科目： 体育 単位数： 1 単位

対象学年組： 第 4 学年 A 組 ・ C 組

教科担当者：

使用教科書：（ 大修館 現代高等保健体育 ）

教科 保健体育 の目標：

- 【知識及び技能】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身につけるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 体育 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身につけるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1・3 学期	A 体づくり運動(体ほぐしの運動) 【知識および技能】 体ほぐしの運動では、手軽な運動を行い、心と体との関係や心身の状況に気づき、仲間と積極的に関わり合うことができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 体づくり運動に積極的に取り組むとともに、仲間の学習を援助しようとする、一人ひとりの違いに応じた動きなどを認めようとする、話し合いに参加しようとする、ことなどや、健康・安全に気を配ることができるようにする。	①のびのびとした動作で用具などを用いた運動を行うことを通して、気づいたり関わり合ったりすること。②大きくリズムカルに全身や体の各部位を振ったり、回したり、ねじったり、曲げ伸ばしたりすること。③いろいろなフォームで様々な用具を用いて、タイミングよく跳んだり、転がしたりすること。④自己の体重を利用して腕や脚を屈伸したり、腕や脚を上げたり下ろしたり、同じ姿勢を維持したりすること。	【知識・技能】 ①体づくり運動のうち、心と体をほぐし、体を動かす楽しさや心地よさを味わう意義があることについて、理解したことを言ったり、書き出したりしている。②体づくり運動のうち、体の柔らかさ、巧みな動き、力強い動き、動きを持続する能力を高める意義があることについて、理解したことを言ったり、書き出したりしている。 【思考力、判断力、表現力等】 ①体ほぐしの運動で「心と体の関係や心身の状態に気づく」、「仲間と積極的に関わり合う」ことを踏まえてねらいに応じた運動を選んでいる。②学習した安全上の留意点を、他の学習場面に当てはめ、仲間に伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 ①体づくり運動の学習に積極的に取り組もうとしている。②仲間の補助をしたり助言したりして、仲間の学習を援助しようとしている。	○	○	○	7
1 学期	C 陸上競技(短距離走、長距離走) 【知識および技能】 クラウチングスタートから徐々に上体を起こしていき加速することができるようにする。ペースを守り、一定の距離を走ることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 掲示された動きのポイントやつまずきの事例を参考に、仲間の課題や出来映えを伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 陸上競技の学習に積極的に取り組むことができるようにする。	①クラウチングスタートから徐々に上体を起こしていき加速すること。②ペースを守り、一定の距離を走ること。	【知識・技能】 ①クラウチングスタートから徐々に上体を起こしていき加速することができる。②腕に余分な力を入れず、リラックスして走ることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ①掲示された動きのポイントやつまずきの事例を参考に、仲間の課題や出来映えを伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 ①陸上競技の学習に積極的に取り組もうとしている。	○	○	○	3
1・3 学期	H 体育理論 【知識および技能】 豊かなスポーツライフの設計の仕方について理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 豊かなスポーツライフの設計の仕方について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えることができるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 豊かなスポーツライフの設計の仕方についての学習に主体的に取り組むことができるようにする。	①各ライフステージでのスポーツの役割について理解すること。②スポーツ科学の役割について理解すること。③生活の質を高めるスポーツをどのようにして生活の中に取り入れるかを考えること。④マイライフスポーツを設計すること。⑤日本におけるスポーツライフの特徴について理解すること。	【知識・技能】 ①スポーツは、各ライフステージにおける身体的・心理的・社会的特徴に応じた多様な楽しみ方があること、また、その楽しみ方は、個人のスポーツに対する欲求などによっても変化することについて、言ったり、書きだしたりしている。 【思考力、判断力、表現力等】 ①ライフステージにおけるスポーツの楽しみ方やライフスタイルに応じたスポーツとの関わり方について、自己や自己を取り巻く環境の変化を予想し、自己や社会についての課題を発見している。 【学びに向かう力、人間性等】 ①豊かなスポーツライフの設計の仕方についての学習に、主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	6

1 学期・2 学期・3 学期	<p>E 球技(ゴール型・バスケットボール)</p> <p>【知識及び技能】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技術で仲間と連携し、ゲームを展開することができるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすることができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保することができるようにする。</p>	<p>①ゴールの枠内にシュートをコントロールすること。②味方が操作しやすいパスを送ること。③守備者とボールの間に自分の体を入れてボールをキープすること。④ゴール前に広い空間を作り出すために、守備者を引きつけてゴールから離れること。⑤パスを出した後に次のパスを受ける動きをすること。⑥ボール保持者が進行できる空間を作り出すために、進行方向から離れること。⑦ゴールとボール保持者を結んだ直線上で守ること。⑧ゴール前の空いている場所をカバーすること。</p>	<p>【知識・技能】 ①バスケットボールの技術や戦術、作戦の名称とそれらを身につけるためのポイントを理解することができた。②ゲームのルール、試合方法や審判や運営の仕方など、競技会の行い方を理解することができた。③安定したボール操作や状況に応じたボール操作、チームメイトと連携して空間を作り出す動きや空間を埋める動きなどをゲームで行うことができた。</p> <p>【思考・判断・表現】 ①自分やチームの課題を見つけ、これまで学んだ知識や技能を活用して、課題解決に有効な練習方法を選択したり、課題を解決するための練習計画を立てたりすることができた。②練習やゲーム時に、よりよいマナーやプレイができ、健康や安全を確保する活動ができるように、自分やチームの活動を振り返るとともに仲間に提案することができた。③チームで作戦や戦術を選ぶ際に、仲間と話し合い、自分の考えを仲間に伝えることで皆が納得することができた。④体力や技能の程度、性別等の違いに配慮して、仲間とともに楽しむための練習やゲームの行い方を工夫することができた。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ①分担した役割に主体的に取り組む、練習やゲーム、チームの話し合いに積極的に参加することができた。②競技の特性に応じた危険を理解したうえで、安全に留意して実施するとともに、フェアなプレイを大切にゲームをすることができた。③一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認め、仲間を称えるとともに、仲間へ助言することで信頼関係を</p>	○	○	○	2
	実技テスト			○	○	○	1
1 学期・2 学期・3 学期	<p>E 球技(ネット型・バドミントン)</p> <p>【知識及び技能】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技術で仲間と連携し、ゲームを展開することができるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保することができるようにする。</p>	<p>①サーブでは、シャトルをねらった場所に打つこと。②シャトルを相手側のコートの空いた場所やねらった場所に打ち返すこと。③腕やラケットを強く振って、ネットより高い位置から相手側のコートに打ち込むこと。④ラリーの中で、味方の動きに合わせてコート上の空いている場所をカバーすること。⑤連携プレイのための基本的なフォーメーションに応じた位置に動くこと。</p>	<p>【知識・技能】 ①バドミントンの技術や戦術、作戦の名称とそれらを身につけるためのポイントを理解することができた。②ゲームのルール、試合方法や審判や運営の仕方など、競技会の行い方を理解することができた。③役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防がゲームで行うことができた。</p> <p>【思考・判断・表現】 ①自分やチームの課題を見つけ、これまで学んだ知識や技能を活用して、課題解決に有効な練習方法を選択したり、課題を解決するための練習計画を立てることができた。②練習やゲーム時に、よりよいマナーやプレイができ、健康や安全を確保する活動ができるように、自分やチームの活動を振り返るとともに仲間に提案することができた。③チームで作戦や戦術を選ぶ際に、仲間と話し合い、自分の考えを仲間に伝えることで皆が納得することができた。④体力や技能の程度、性別等の違いに配慮して、仲間とともに楽しむための練習やゲームの行い方を工夫することができた。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ①分担した役割に主体的に取り組む、練習やゲーム、チームの話し合いに積極的に参加することができた。②競技の特性に応じた危険を理解したうえで、安全に留意して実施するとともに、フェアなプレイを大切にゲームをすることができた。③一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認め、仲間を称えるとともに、仲間へ助言することで信頼関係を深め、互いに高め合うことができた。</p>	○	○	○	3
	実技テスト			○	○	○	1
1 学期・2 学期・3 学期	<p>E 球技(ネット型・卓球)</p> <p>【知識及び技能】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技術で仲間と連携し、ゲームを展開することができるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保することができるようにする。</p>	<p>①サーブでは、ボールをねらった場所に打つこと。②ボールを相手側のコートの空いた場所やねらった場所に打ち返すこと。③腕やラケットを強く振って、ネットより高い位置から相手側のコートに打ち込むこと。④ラリーの中で、味方の動きに合わせてコート上の空いている場所をカバーすること。⑤連携プレイのための基本的なフォーメーションに応じた位置に動くこと。</p>	<p>【知識・技能】 ①卓球の技術や戦術、作戦の名称とそれらを身につけるためのポイントを理解することができた。②ゲームのルール、試合方法や審判や運営の仕方など、競技会の行い方を理解することができた。③役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防がゲームで行うことができた。</p> <p>【思考・判断・表現】 ①自分やチームの課題を見つけ、これまで学んだ知識や技能を活用して、課題解決に有効な練習方法を選択したり、課題を解決するための練習計画を立てることができた。②練習やゲーム時に、よりよいマナーやプレイができ、健康や安全を確保する活動ができるように、自分やチームの活動を振り返るとともに仲間に提案することができた。③チームで作戦や戦術を選ぶ際に、仲間と話し合い、自分の考えを仲間に伝えることで皆が納得することができた。④体力や技能の程度、性別等の違いに配慮して、仲間とともに楽しむための練習やゲームの行い方を工夫することができた。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ①分担した役割に主体的に取り組む、練習やゲーム、チームの話し合いに積極的に参加することができた。②競技の特性に応じた危険を理解したうえで、安全に留意して実施するとともに、フェアなプレイを大切にゲームをすることができた。③一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認め、仲間を称えるとともに、仲間へ助言することで信頼関係を深め、互いに高め合うことができた。</p>	○	○	○	3
	実技テスト			○	○	○	1

1 学期・2 学期・3 学期	E 球技(ネット型・バレーボール) 【知識及び技能】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技術で仲間と連携し、ゲームを展開することができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保することができるようにする。	①サーブでは、ボールをねらった場所に打つこと。②ボールを相手側のコートの空いた場所やねらった場所に打ち返すこと。③腕やラケットを強く振って、ネットより高い位置から相手側のコートに打ち込むこと。④ラリーの中で、味方の動きに合わせてコート上の空いている場所をカバーすること。⑤連携プレイのための基本的なフォーメーションに応じた位置に動くこと。	【知識・技能】 ①バレーボールの技術や戦術、作戦の名称とそれらを身につけるためのポイントを理解することができた。②ゲームのルール、試合方法や審判や運営の仕方など、競技会のおこない方を理解することができた。③役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防がゲームで行うことができた。 【思考・判断・表現】 ①自分やチームの課題を見つけ、これまで学んだ知識や技能を活用して、課題解決に有効な練習方法を選択したり、課題を解決するための練習計画を立てたりすることができた。②練習やゲーム時に、よりよいマナーやプレイができ、健康や安全を確保する活動ができるように、自分やチームの活動を振り返るとともに仲間に提案することができた。③チームで作戦や戦術を選ぶ際に、仲間と話し合い、自分の考えを仲間に伝えることで皆が納得することができた。④体力や技能の程度、性別等の違いに配慮して、仲間とともに楽しむための練習やゲームの行い方を工夫することができた。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①分担した役割に主体的に取り組む、練習やゲーム、チームの話し合いに積極的に参加することができた。②競技の特性に応じた危険を理解したうえで、安全に留意して実施するとともに、フェアなプレイを大切にゲームをすることができた。③一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認め、仲間を称えるとともに、仲間へ助言することで信頼関係を深め、互いに高め合うことができた。	○	○	○	3
	実技テスト			○	○	○	1
1 学期・2 学期・3 学期	E 球技(ゴール型・アルティメット) 【知識及び技能】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技術で仲間と連携し、ゲームを展開することができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 安定したディスク操作と空間を作り出すなどの動きによってゴールへの侵入などから攻防をすることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保することができるようにする。	①エンドゾーン内にパスをコントロールすること。②味方が操作しやすいパスを送ること。③守備者とディスクの間に自分の体を入れてボールをキープすること。④ゴール前に広い空間を作り出すために、守備者を引きつけてゴールから離れること。⑤パスを出した後に次のパスを受ける動きをすること。⑥ゴールとディスク保持者を結んだ直線上で守ること。	【知識・技能】 ①アルティメットの技術や戦術、作戦の名称とそれらを身につけるためのポイントを理解することができた。②ゲームのルール、試合方法や審判や運営の仕方など、競技会の行い方を理解することができた。③安定したディスク操作やエンドゾーン前での攻防を展開するためのディスク操作と空間に走りこむなどの動きをゲームで行うことができた。 【思考・判断・表現】 ①自分やチームの課題を見つけ、これまで学んだ知識や技能を活用して、課題解決に有効な練習方法を選択したり、課題を解決するための練習計画を立てたりすることができた。②練習やゲーム時に、よりよいマナーやプレイができ、健康や安全を確保する活動ができるように、自分やチームの活動を振り返るとともに仲間に提案することができた。③チームで作戦や戦術を選ぶ際に、仲間と話し合い、自分の考えを仲間に伝えることで皆が納得することができた。④体力や技能の程度、性別等の違いに配慮して、仲間とともに楽しむための練習やゲームの行い方を工夫することができた。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①分担した役割に主体的に取り組む、練習やゲーム、チームの話し合いに積極的に参加することができた。②競技の特性に応じた危険を理解したうえで、安全に留意して実施するとともに、フェアなプレイを大切にゲームをすることができた。③一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認め、仲間を称えるとともに、仲間へ助言することで信頼関係を深め、互いに高め合うことができた。	○	○	○	3
	実技テスト			○	○	○	1
1 学期・2 学期・3 学期	E 球技(ネット型・テニス) 【知識及び技能】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技術で仲間と連携し、ゲームを展開することができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保することができるようにする。	①サーブでは、ボールをねらった場所に打つこと。②ボールを相手側のコートの空いた場所やねらった場所に打ち返すこと。③腕やラケットを強く振って、ネットより高い位置から相手側のコートに打ち込むこと。④ラリーの中で、味方の動きに合わせてコート上の空いている場所をカバーすること。⑤連携プレイのための基本的なフォーメーションに応じた位置に動くこと。	【知識・技能】 ①テニスの技術や戦術、作戦の名称とそれらを身につけるためのポイントを理解することができた。②ゲームのルール、試合方法や審判や運営の仕方など、競技会のおこない方を理解することができた。③役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防がゲームで行うことができた。 【思考・判断・表現】 ①自分やチームの課題を見つけ、これまで学んだ知識や技能を活用して、課題解決に有効な練習方法を選択したり、課題を解決するための練習計画を立てたりすることができた。②練習やゲーム時に、よりよいマナーやプレイができ、健康や安全を確保する活動ができるように、自分やチームの活動を振り返るとともに仲間に提案することができた。③チームで作戦や戦術を選ぶ際に、仲間と話し合い、自分の考えを仲間に伝えることで皆が納得することができた。④体力や技能の程度、性別等の違いに配慮して、仲間とともに楽しむための練習やゲームの行い方を工夫することができた。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①分担した役割に主体的に取り組む、練習やゲーム、チームの話し合いに積極的に参加することができた。②競技の特性に応じた危険を理解したうえで、安全に留意して実施するとともに、フェアなプレイを大切にゲームをすることができた。③一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認め、仲間を称えるとともに、仲間へ助言することで信頼関係を深め、互いに高め合うことができた。	○	○	○	3
	実技テスト			○	○	○	1
							合計
							39

足立 高等学校 令和8年度（4 学年用） 教科 保健体育 科目 アクティブスポーツ

教科： 保健体育 科目： アクティブスポーツ 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 4 学年 A 組 ・ C 組

教科担当者：

使用教科書：（ 大修館 現代高等保健体育 ）

教科 保健体育 の目標：

- 【知識及び技能】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身につけるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 アクティブスポーツ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身につけるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期 ・ 2 学 期 ・ 3 学 期	球技(ゴール型・バスケットボール) 【知識及び技能】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技術で仲間と連携し、ゲームを展開することができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保することができるようにする。	①ゴールの枠内にシュートをコントロールすること。②味方が操作しやすいパスを送ること。③守備者とボールの間に自分の体を入れてボールをキープすること。④ゴール前に広い空間を作り出すために、守備者を引きつけてゴールから離れること。⑤パスを出した後に次のパスを受け取る動きをすること。⑥ボール保持者が進行できる空間を作り出すために、進行方向から離れること。⑦ゴールとボール保持者を結んだ直線上で守ること。⑧ゴール前の空いている場所をカバーすること。	【知識・技能】 ①バスケットボールの技術や戦術、作戦の名称とそれらを身につけるためのポイントを理解することができた。②ゲームのルール、試合方法や審判や運営の仕方など、競技会の行い方を理解することができた。③安定したボール操作や状況に応じたボール操作、チームメイトと連携して空間を作り出す動きや空間を埋める動きなどをゲームで行うことができた。 【思考・判断・表現】 ①自分やチームの課題を見つけ、これまで学んだ知識や技能を活用して、課題解決に有効な練習方法を選択したり、課題を解決するための練習計画を立てたりすることができた。②練習やゲーム時に、よりよいマナーやプレイができ、健康や安全を確保する活動ができるように、自分やチームの活動を振り返るとともに仲間に提案することができた。③チームで作戦や戦術を選ぶ際に、仲間と話し合い、自分の考えを仲間に伝えることで皆が納得することができた。④体力や技能の程度、性別等の違いに配慮して、仲間とともに楽しむための練習やゲームのおこない方を工夫することができた。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①分担した役割に主体的に取り組む、練習やゲーム、チームの話し合いに積極的に参加することができた。②競技の特性に応じた危険を理解したうえで、安全に留意して実施するとともに、フェアなプレイを大切にゲームをすることができた。③一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認め、仲間を称えるとともに、仲間へ助言することで信頼関係を深め、互いに高め合うことができた。	○	○	○	18
	実技テスト				○	○	○
1 学 期 ・ 2 学 期 ・ 3 学 期	球技(ネット型・バドミントン) 【知識及び技能】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技術で仲間と連携し、ゲームを展開することができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保することができるようにする。	①サービスでは、シャトルをねらった場所に打つこと。②シャトルを相手側のコートに打ち返すこと。③腕やラケットを強く振って、ネットより高い位置から相手側のコートに打ち込むこと。④ラリーの中で、見方の動きに合わせてコート上の空いている場所をカバーすること。⑤連携プレイのための基本的なフォーメーションに応じた位置に動くこと。	【知識・技能】 ①バドミントンの技術や戦術、作戦の名称とそれらを身につけるためのポイントを理解することができた。②ゲームのルール、試合方法や審判や運営の仕方など、競技会の行い方を理解することができた。③役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防がゲームで行うことができた。 【思考・判断・表現】 ①自分やチームの課題を見つけ、これまで学んだ知識や技能を活用して、課題解決に有効な練習方法を選択したり、課題を解決するための練習計画を立てたりすることができた。②練習やゲーム時に、よりよいマナーやプレイができ、健康や安全を確保する活動ができるように、自分やチームの活動を振り返るとともに仲間に提案することができた。③チームで作戦や戦術を選ぶ際に、仲間と話し合い、自分の考えを仲間に伝えることで皆が納得することができた。④体力や技能の程度、性別等の違いに配慮して、仲間とともに楽しむための練習やゲームのおこない方を工夫することができた。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①分担した役割に主体的に取り組む、練習やゲーム、チームの話し合いに積極的に参加することができた。②競技の特性に応じた危険を理解したうえで、安全に留意して実施するとともに、フェアなプレイを大切にゲームをすることができた。③一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認め、仲間を称えるとともに、仲間へ助言することで信頼関係を深め、互いに高め合うことができた。	○	○	○	18
	実技テスト				○	○	○

1 学 期 ・ 2 学 期 ・ 3 学 期	球技(ネット型・卓球) 【知識及び技能】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技術で仲間と連携し、ゲームを展開することができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保することができるようにする。	①サービスでは、ボールをねらった場所に打つこと。②ボールを相手側のコートに打ち返すこと。③腕やラケットを強く振って、ネットより高い位置から相手側のコートに打ち込むこと。④ラリーの中で、見方の動きに合わせてコート上の空いている場所をカバーすること。⑤連携プレイのための基本的なフォーメーションに応じた位置に動くこと。	【知識・技能】 ①卓球の技術や戦術、作戦の名称とそれらを身につけるためのポイントを理解することができた。②ゲームのルール、試合方法や審判や運営の仕方など、競技会の行い方を理解することができた。③役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をゲームで行うことができた。 【思考・判断・表現】 ①自分やチームの課題を見つけ、これまで学んだ知識や技能を活用して、課題解決に有効な練習方法を選択したり、課題を解決するための練習計画を立てたりすることができた。②練習やゲーム時に、よりよいマナーやプレイができ、健康や安全を確保する活動ができるように、自分やチームの活動を振り返るとともに仲間に提案することができた。③チームで作戦や戦術を選ぶ際に、仲間と話し合い、自分の考えを仲間に伝えることで皆が納得することができた。④体力や技能の程度、性別等の違いに配慮して、仲間とともに楽しむための練習やゲームのおこない方を工夫することができた。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①分担した役割に主体的に取り組む、練習やゲーム、チームの話し合いに積極的に参加することができた。②競技の特性に応じた危険を理解したうえで、安全に留意して実施するとともに、フェアなプレイを大切にゲームをすることができた。③一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認め、仲間を称えとともに、仲間へ助言することで信頼関係を深め、互いに高め合うことができた。	○	○	○	17
	実技テスト			○	○	○	2
1 学 期 ・ 2 学 期 ・ 3 学 期	球技(ネット型・テニス) 【知識及び技能】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技術で仲間と連携し、ゲームを展開することができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保することができるようにする。	①サービスでは、ボールをねらった場所に打つこと。②ボールを相手側のコートに打ち返すこと。③ラリーの中で、見方の動きに合わせてコート上の空いている場所をカバーすること。④連携プレイのための基本的なフォーメーションに応じた位置に動くこと。	【知識・技能】 ①テニスの技術や戦術、作戦の名称とそれらを身につけるためのポイントを理解することができた。②ゲームのルール、試合方法や審判や運営の仕方など、競技会の行い方を理解することができた。③役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をゲームで行うことができた。 【思考・判断・表現】 ①自分やチームの課題を見つけ、これまで学んだ知識や技能を活用して、課題解決に有効な練習方法を選択したり、課題を解決するための練習計画を立てたりすることができた。②練習やゲーム時に、よりよいマナーやプレイができ、健康や安全を確保する活動ができるように、自分やチームの活動を振り返るとともに仲間に提案することができた。③チームで作戦や戦術を選ぶ際に、仲間と話し合い、自分の考えを仲間に伝えることで皆が納得することができた。④体力や技能の程度、性別等の違いに配慮して、仲間とともに楽しむための練習やゲームの行い方を工夫することができた。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①分担した役割に主体的に取り組む、練習やゲーム、チームの話し合いに積極的に参加することができた。②競技の特性に応じた危険を理解したうえで、安全に留意して実施するとともに、フェアなプレイを大切にゲームをすることができた。③一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認め、仲間を称えとともに、仲間へ助言することで信頼関係を深め、互いに高め合うことができた。	○	○	○	17
	実技テスト			○	○	○	2
							合計
							78

足立 高等学校 令和8年度（4学年用） 教科

芸術 科目 美術 I

教科： 芸術 科目： 美術 I

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 4 学年 A 組～ C 組

教科担当者：

使用教科書：（ 日本文教出版 新・高校生の美術 1 ）

教科 芸術 の目標：

- 【知識及び技能】 芸術に関する各項目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身につけるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。
- 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 美術 I の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	学	配 当 時 数
		絵 ・ 彫	デ	映						
A 題材 観察力を身につけよう （色鉛筆による草花の写生） 【知識及び技能】 ・意図に応じて材料や用具の特性を生かすとともに、色や質感などの表現を工夫し、主題を追求しあわしている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・身近なものを見つめ、主題を生成し、形や色、構図、材料や用具の特性などについて考え表現の構想を練っている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に身近なものを見つめ、感じ取った特徴をもとにして創造活動に取り組もうとしている。	・指導事項 ○遠近法の原理の学習 ○色鉛筆によるデッサン（質感・立体感・形） ・教材 ○色鉛筆、消しゴム、画用紙、参考作品 ・書画カメラ	○					○	○	○	14
1 学期 B 題材 色や形で感情を表現しよう （原始絵画の技法） 【知識及び技能】 ・原始絵画についての各技法についての知識・理解を深める。 ・意図に応じて材料や用具の特性を生かすとともに、色や形態などの表現を工夫し主題を追求して創造的にあわしている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自分の思いや感情から主題を生成し、形や色、構図、材料や用具の特性などについて考え、創造的な表現の構想を練っている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に、自分の思いや感情などをもとにした表現の創作活動に取り組もうとしている。 ・主体的に、他者の作品のよさや意図を感じ取り、言語化しようとしている。	・指導事項 ○原始絵画の各技法の演習（吹付け、ステンシル、線刻、型押し、筆描き、タンボ描き） ・教材 ○鉛筆、消しゴム、画用紙、参考作品、アクリルガッシュ、クレヨン、のり等描画用具、土、木炭 ・書画カメラ		○	○			○	○	○	13

2 学 期	<p>C 題材 自刻像を作ろう (塑像)</p> <p>【知識及び技能】 ・塑像及び自刻像について、その成り立ちや歴史を知り、その表現を理解する。 ・意図に応じて材料や用具を選択し、その特性を生かすとともに、主題を追求して創造的にあらわす。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・感じ取ったことや考えたことから主題を生成し、単純化や省略、強調、材料の質感や量感を生かした表現などについて考え、創造的な表現の構想を練っている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に対象を見つめ、感じ取ったことや考えたことをもとにした表現活動に取り組もうとしている。</p>	<p>・指導事項 ○自刻像の制作 ○自分の顔及び頭部のスケッチ</p> <p>・教材 ○鉛筆、消しゴム、参考作品、鏡、粘土、芯材など</p> <p>・書画カメラ</p>	○			<p>【知識及び技能】 ・塑像及び自刻像について、その成り立ちや歴史を知り、その表現を理解している。 ・意図に応じて材料や用具を選択し、その特性を生かすとともに、主題を追求して創造的にあらわすことができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・感じ取ったことや考えたことから主題を生成し、単純化や省略、強調、材料の質感や量感を生かした表現などについて考え、創造的な表現の構想を練ることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に対象を見つめ、感じ取ったことや考えたことをもとにした表現活動に取り組んでいる。</p>	○	○	○	19
	<p>D 題材 LINEスタンプをつくろう (デザイン)</p> <p>【知識及び技能】 ・LINEスタンプについて成り立ちを知り、その効果を理解する。 ・形や色などが感情にもたらす効果や、全体のイメージや造形的な特徴・作風などでデザインを捉えることを理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・伝える情報の内容や相手などから主題を生成し、単純化や省略、強調などの効果やわかりやすさと美しさの調和などについて考え、創造的な表現の構想を練っている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に誰に何を伝えるかを考え、わかりやすく効果的なデザインを工夫する表現の創造活動に取り組もうとしている。 ・主体的に、他者の作品のよさや意図を感じ取り、言語化しようとしている。</p>	<p>・指導事項 ○LINEスタンプのデザイン</p> <p>・教材 ○鉛筆、消しゴム、参考作品、画用紙、ペン、色鉛筆など</p> <p>・書画カメラ</p>	○	○		<p>【知識及び技能】 ・LINEスタンプについて成り立ちを知り、その効果を理解している。 ・形や色などが感情にもたらす効果や、全体のイメージや造形的な特徴・作風などでデザインを捉えることを理解することができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・伝える情報の内容や相手などから主題を生成し、単純化や省略、強調などの効果やわかりやすさと美しさの調和などについて考え、創造的な表現の構想を練ることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に誰に何を伝えるかを考え、わかりやすく効果的なデザインを工夫する表現の創造活動に取り組むことができる。 ・主体的に、他者の作品のよさや意図を感じ取り、言語化することができる。</p>	○	○	○	14
3 学 期	<p>E 題材 有名な作品を深く理解しよう (模写) (鑑賞)</p> <p>【知識及び技能】 ・グリッド転写の技法を理解し、主題を追求しあらわしている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・模写の制作から、作者の表現意図や工夫を感じ取り、作品制作に生かしている。 ・作品の造形的なよさや美しさを感じ取るとともに、作者の生涯・心情や創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深める。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に作品を見つめ、感じ取った特徴をもとにして創造活動に取り組もうとしている。 ・主体的に作品のよさや美しさを感じ取り、その生涯や心情と作品との関係などについて考える鑑賞活動に取り組む。</p>	<p>・指導事項 ○模写の制作 ○グリッド転写 ○鑑賞 ○アクリルガッシュの使い方</p> <p>・教材 ○鉛筆、消しゴム、参考作品、アクリルガッシュ、教科書など</p> <p>・書画カメラ</p>	○	○		<p>【知識及び技能】 ・グリッド転写の技法を理解し、主題を追求しあらわすことができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・模写の制作から、作者の表現意図や工夫を感じ取り、作品制作に生かすことができる。 ・作品の造形的なよさや美しさを感じ取るとともに、作者の生涯・心情や創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深められている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に作品を見つめ、感じ取った特徴をもとにして創造活動に取り組むことができる。 ・主体的に作品のよさや美しさを感じ取り、その生涯や心情と作品との関係などについて考える鑑賞活動に取り組むことができる。</p>	○	○	○	18
合計										78

足立 高等学校 令和8年度（4学年用） 教科 芸術 科目 書道 I

教科： 芸術（書道） 科目： 書道 I 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 4 学年 A 組～ C 組

教科担当者：

使用教科書：（ 東京書籍 書道 I ）

教科 書道 I の目標：

【知識及び技能】芸術に関する各項目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身につけるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 書道 I の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。	書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わったり捉えたりすることができるようにする。	主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	学	配 当 時 数
		漢 仮	漢	仮						
1 学 期	A 書道の理解 【知識及び技能】 ・書道の分野 ・小・中学校の国語科書写 ・日本及び中国等の文字と書の伝統と文化 ・漢字の書体の変遷 ・各書体に特有の字形や線質の特徴上記を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・漢字の古典の価値と根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に書の幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている。 ・漢字の書体の変遷や、その背景にある歴史や文化に関心をもち、主体的に漢字の書の幅広い鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	○指導事項 ・小・中学校国語科書写と高等学校芸術科書道の学習の違いを確認 ・臨書・鑑賞・創作の理解 ・用具用材の理解 ・それぞれの書体の成立過程と、その歴史的背景、字形や線質の特徴を理解 ○教材 大筆、小筆、硯、文鎮、紙、墨毛氈	○			【知識及び技能】 ・書道の分野や書道で学習すること、小・中学校の国語科書写で学習した内容を理解できている。 ・日本及び中国等の文字と書の伝統と文化、漢字の書体の変遷、各書体に特有の字形や線質の特徴について理解できている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・漢字の古典の価値と根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・漢字の書体の変遷や、その背景にある歴史や文化に関心をもち、主体的に漢字の書の幅広い鑑賞の学習活動に取り組むことができている。 ・主体的に書の幅広い表現の学習活動に取り組むことができている。	○		○	6
	B 唐代の楷書とその周辺 【知識及び技能】 ・楷書の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、線質、字形や構成を生かした表現 ・線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について上記を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・楷書の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・幅広い表現と鑑賞の学習活動に主体的に取り組む、書に対する感性を豊かにし、書を愛好する心情を養う。	○指導事項 書風の違いを理解させる。 ・九成宮醜泉銘 ・孔子廟堂碑 ・雁塔聖教序 ・顔氏家廟碑 方勢と円勢の違いについて ・牛橛造像記 ・鄭義下碑 ○教材 大筆、小筆、硯、文鎮、紙、墨毛氈、参考作品	○			【知識及び技能】 ・楷書の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、線質、字形や構成を生かした表現を習得できている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・楷書の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・幅広い表現と鑑賞の学習活動に主体的に取り組む、書に対する感性を豊かにし、書を愛好する心情を養える。	○	○	○	10
	C 楷書の倣書 【知識及び技能】 ・用具・用材の特徴 ・表現効果とその関わり ・書体や書風 ・用筆・運筆について上記を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・漢字の古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に対象を見つめ、古典から感じ取ったことや考えたことをもとにした表現活動に取り組もうとしている。	○指導事項 楷書を基に創作する 字書の扱い方 草稿の練り方 ○教材 大筆、小筆、硯、文鎮、紙、墨毛氈、字書	○			【知識及び技能】 ・用具・用材の特徴と表現効果との関わり、書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・漢字の古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫できた。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に対象を見つめ、感じ取ったことや考えたことをもとにした表現活動に取り組もうとしている。	○	○	○	11

年間授業計画

高等学校 令和8年度（4学年用）教科

外国語(英語) 科目 英語コミュニケーション応用

教科： 外国語(英語) 科目： 英語コミュニケーション応用 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 4 学年（普通科・商業科）

教科担当者：

使用教科書：（三省堂 Vista English Communication II ）

教科 外国語(英語) の目標：

- 【知識及び技能】 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的・自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

科目 英語コミュニケーション応用 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
英語の基本的な語彙、表現、文法、言語の働きなどの多角的な理解を深め、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。	友達やAIと、平易な英語を用いて、日常的な話題や社会的な話題について、身近な話題を適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。また、音読やリスニング活動を通して、楽しく英語の活動に取り組めるようにする。	国際社会に生きる自覚を持ち、外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的・自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	学	配 当 時 数	
		聞	読	話 （ や ）	話 （ 発 ）	書						
3年生の復習 British Council Learn English Teens Reading skills practice "Finding a Job"に挑戦 【知識及び技能】仕事という身近なテーマで英文の内容を理解することができる。 【表現力等】本文の語彙を用いて、自分の希望する仕事や条件を英語で表現する。 【学びに向かう力、人間性等】主体的に会話活動に参加し、他者とのやりとりを通じ、お互いの意見や考えを共有する。	・指導事項 ○3年生までの復習とCEFR A2レベルの英文法、語彙、会話表現 ○アルバイトや就労に関する語彙や労働条件を学ぶ ○教室内での英会話	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 3年生の復習、および CEFR A2程度の英文の内容、語彙、会話表現を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 CEFR A2程度の英文の内容、語彙、会話表現を理解し、それらを用いてアルバイトや就労について自分の希望や考えを英語で伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に言語活動に参加し、他者とのやりとりを通じ、知識の習得・定着に努めている。	○	○	○	○	10
	定期考査（中間）		○	○				○	○	○	1	
	ENJOY READING!-1・The Open Window ブラックユーモアに富む独特な短編小説をおおく残したイギリスの作家の代表作を登場人物の際やその意図、物語の展開を想像しながら英語で楽しんで読む。 【知識及び技能】教科書の英文を読んで、想像を膨らませながら内容を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】既習の文法事項を用いて、物語について要旨や感想を英語で表現する。 【学びに向かう力、人間性等】主体的に自分の考えを発信する。また周りの生徒は発表者の意見や考えを共有する。	・指導事項 ○受け身の用法（現在形・過去形） ○現在完了（完了・経験） ○新出語彙	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 既存の文法知識（主に受け身・現在完了）を使った表現や語彙を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 物語の要旨や感想を英語で伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に学習活動に参加し、他者とのやりとりを通じ、知識の習得・定着に努めている。	○	○	○	○
定期考査（期末）		○	○	○	○	○	実技試験（インタビュー、発表）	○	○	○	1	
ENJOY READING!-2 The Christmas Truce 【知識及び技能】1914年に勃発した第一次世界大戦において激しい戦闘を繰り広げていたイギリスとドイツの戦地で起きたクリスマスの時期に起こった「奇跡」の物語を英語で読み、平和についてメッセージを読み取る。 【思考力、判断力、表現力等】第一次世界大戦を通じて、現在の成果情勢についても考察し自分自身の考えを英語で表現する。 【学びに向かう力、人間性等】平和問題について深く考える。	・指導事項 ○動名詞、仮定法過去の用法 ○語彙 ○教室内での英会話、発表 ○平和について	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 第一次世界大戦について知り、語彙を理解することができる。また学んだ語彙を使って短い英作文を書くことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 第一次世界大戦から平和について学び、現在起きている戦争や紛争とも関連してそれらを学び、自分の意見を英語で伝えたり、作文に書くことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 現在の世界情勢と結びつけながら平和問題を考えることができる。	○	○	○	○	16
	定期考査（中間）		○	○				○	○	○	1	
	ENJOY READING!-3 My Dream 【知識及び技能】宇宙飛行士である野口聡一氏の鶴風飛行士になるまでのエッセイを読み、野口氏の職業や夢への思いに触れながら職業選択について考える。 【思考力、判断力、表現力等】仮定法過去の用法を用いて、身近な事柄を英語で相手に伝えられるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】エッセイを通して、自身の将来の仕事や夢を共有する。	・指導事項 ○語彙 ○関係代名詞の非制限用法 ○基本的なessayの書き方 ○教室内での英会話	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 動名詞や仮定法過去完了形の用法を正しく理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 動名詞や仮定法過去完了を用いて、身近なことなどについて英語で表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自身の将来の夢や職業について考え、言語化する。	○	○	○	○
定期考査（期末）		○	○					○	○	○	1	
単語・文法のみ 【知識及び技能】4年間で学んだ単語のうち、基本的なものを復習する。 【思考力、判断力、表現力等】ベーシックな単語を使い、身近なことについて英語で表現する。 【学びに向かう力、人間性等】単語と文法を主体的に学び、自分の考えを英語で表現し、友達と多言語でコミュニケーションする楽しさを知る。	・指導事項 ○単語 ○代名詞、基本文型 ○助動詞、動名詞、不定詞 ○現在完了形、受動態 ○関係詞、分詞 ○比較、仮定法、知覚動詞、過去完了形、過去完了進行形	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 基本的な単語や文法を用いて、多くの平易な英文を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 基本的な単語や文法を用いて、自分のことを英語で相手に伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 英語を使ってお互いの気持ちを伝えあう楽しさを知る。また、外国人と積極的に英語でコミュニケーションすることができる。	○	○	○	○	16
	定期考査(学年末)		○	○				○	○	○	1	
	4年間のまとめ		○	○	○	○	○		○	○	○	1

合計
78

足立高等学校 令和8年度（4学年用） 教科 商業 科目 課題研究

教科：商業 科目：課題研究 単位数：2 単位

対象学年組：第 4 学年 C 組

教科担当者：

使用教科書：（教科書なし 使用教材 日本情報処理検定協会 プレゼンテーション ）

教科 商業 の目標：

【知識及び技能】 商業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 ビジネスに関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、ビジネスの創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目 課題研究 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
商業の各分野について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、相互に関連付けられた技術を身に付けるようにする。	ビジネスに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として解決策を探究し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。	課題を解決する力の向上を目指して自ら学び、ビジネスの創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	学	配当 時数
1 学 期	基本的な機能を使用して、プレゼンテーション資料を作成する。	<4級レベル> ○文字・記号の入力 ○フォントの変更（明朝、ゴシック） ○フォントサイズの変更（ポイントの変更） ○文字書体（太字、斜体、下線、文字色など） ○箇条書き記号 ○文字の配置 ○図形描画（四角形、角丸四角形、楕円、八角形、ひし形） ○図形の配置 ○図形の加工（文字入力、塗りつぶし） ○アニメーションの挿入（開始【表示、スライドイン、フェード、ズームなど】） ○プレゼンテーションファイルの保存	【知識及び技能】 プレゼンテーションの意義と重要性について考え、説明することができたか。 【思考力、判断力、表現力等】 プレゼンテーションの作成についての情報収集を行い、効果的なプレゼンテーションを作成するために工夫したか。日常利用しているさまざまな情報に関心を持ち、その意義や役割を考え、理解することができたか。 【学びに向かう力、人間性等】 ビジネスにおけるプレゼンテーションの役割を理解し、これを活用するための知識や技術を積極的に身に付けようとする態度を持ったか。	○	○	○	10
	定期考査(通常授業)			○	○	○	1
	画像・表などを使用して、聞き手の理解を促すプレゼンテーション資料を作成する。	<3級レベル> ○複数スライドの共通設定（スライド番号・背景の設定など） ○画像の挿入（貼り付け） ○画像の配置 ○図形描画（吹き出し、ブロック矢印など） ○表の挿入と配置 ○表の加工（線種など） ○アニメーションの挿入（強調【スピンなど】）	【知識及び技能】 プレゼンテーションの意義と重要性について考え、説明することができたか。 【思考力、判断力、表現力等】 プレゼンテーションの作成についての情報収集を行い、効果的なプレゼンテーションを作成するために工夫したか。日常利用しているさまざまな情報に関心を持ち、その意義や役割を考え、理解することができたか。 【学びに向かう力、人間性等】 ビジネスにおけるプレゼンテーションの役割を理解し、これを活用するための知識や技術を積極的に身に付けようとする態度を持ったか。	○	○	○	15
定期考査			○	○	○	1	
2 学 期	図形・表の加工などのデザインに重点を置き、グラフ・アニメーションなどの視覚効果を用いた資料を作成する。	<2級レベル> ○図形の加工（立体、影付きなど） ○表の加工（セル結合、塗りつぶしなど） ○グラフの作成 ○画面切り替えの設定 ○アニメーションの挿入（終了【クリア、スライドアウト、フェード、ズームなど】）、応用	【知識及び技能】 プレゼンテーションの意義と重要性について考え、説明することができたか。 【思考力、判断力、表現力等】 プレゼンテーションの作成についての情報収集を行い、効果的なプレゼンテーションを作成するために工夫したか。日常利用しているさまざまな情報に関心を持ち、その意義や役割を考え、理解することができたか。 【学びに向かう力、人間性等】 ビジネスにおけるプレゼンテーションの役割を理解し、これを活用するための知識や技術を積極的に身に付けようとする態度を持ったか。	○	○	○	14
	定期考査(通常授業)			○	○	○	1
	高度な機能を使用するとともに、画像・図形などを自由に配置し、プレゼンテーションのストーリー展開を意識した資料を作成する。	<1級レベル> ○特殊文字 ○テキストファイル（CSV形式）を使用したグラフの作成 ○リンクの挿入（スライド間、外部リンク） ○図形・画像の書式設定（順序など） ○スライドの並べ替え ○その他応用	【知識及び技能】 プレゼンテーションの意義と重要性について考え、説明することができたか。 【思考力、判断力、表現力等】 プレゼンテーションの作成についての情報収集を行い、効果的なプレゼンテーションを作成するために工夫したか。日常利用しているさまざまな情報に関心を持ち、その意義や役割を考え、理解することができたか。 【学びに向かう力、人間性等】 ビジネスにおけるプレゼンテーションの役割を理解し、これを活用するための知識や技術を積極的に身に付けようとする態度を持ったか。	○	○	○	17
定期考査			○	○	○	1	
3 学 期	検定試験の各級の合格基準に即し、かつ、制限時間内に資料を作成することができる。	パワーポイントを使用し、プレゼンテーション用の資料を作成する。プレゼンテーション作成検定試験の練習。	【知識及び技能】 プレゼンテーションの意義と重要性について考え、説明することができたか。 【思考力、判断力、表現力等】 プレゼンテーションの作成についての情報収集を行い、効果的なプレゼンテーションを作成するために工夫したか。日常利用しているさまざまな情報に関心を持ち、その意義や役割を考え、理解することができたか。 【学びに向かう力、人間性等】 ビジネスにおけるプレゼンテーションの役割を理解し、これを活用するための知識や技術を積極的に身に付けようとする態度を持ったか。	○	○	○	17
	定期考査			○	○	○	1
							合計
							78

足立高等学校 令和8年度（4学年用） 教科 商業 科目 総合実践

教科： 商業 科目： 総合実践 単位数： 3 単位

対象学年組： 第 4 学年 C 組

教科担当者：

使用教科書：（教科書なし 使用教材 コンピュータ会計能力検定試験）

教科 商業 の目標：

- 【知識及び技能】 商業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 ビジネスに関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、ビジネスの創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目 情報処理 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
コンピュータ会計について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。	コンピュータ会計に関する課題を発見し、将来ビジネスに携わる者として創造的に解決しようとしている。	能力の向上を目指して自ら学び、コンピュータ会計を主体的かつ協働的に取り組もうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	学	配当 時数
1 学期	簿記とは何かを考える学習活動により、体系的にコンピュータで行われる会計処理の意義と役割を理解する。 会計処理により作られる帳簿の必要性を理解する。	弥生会計を使用し、会計処理を行う。 コンピュータ会計検定試験の練習。	【知識及び技能】 コンピュータ会計の意義と重要性について考え、説明することができたか。 【思考力、判断力、表現力等】 ビジネスにおけるコンピュータ会計の役割を理解したか。 【学びに向かう力、人間性等】 これを活用するための知識や技術を積極的に身に付けようとする態度を持ったか。	○	○	○	15
	定期考査(通常授業)			○	○	○	1
	簿記とは何かを考える学習活動により、体系的にコンピュータで行われる会計処理の意義と役割を理解する。 会計処理により作られる帳簿の必要性を理解する。	弥生会計を使用し、会計処理を行う。 コンピュータ会計検定試験の練習。	【知識及び技能】 コンピュータ会計の意義と重要性について考え、説明することができたか。 【思考力、判断力、表現力等】 ビジネスにおけるコンピュータ会計の役割を理解したか。 【学びに向かう力、人間性等】 これを活用するための知識や技術を積極的に身に付けようとする態度を持ったか。	○	○	○	22
	定期考査			○	○	○	1
2 学期	簿記とは何かを考える学習活動により、体系的にコンピュータで行われる会計処理の意義と役割を理解する。 会計処理により作られる帳簿の必要性を理解する。	弥生会計を使用し、会計処理を行う。 コンピュータ会計検定試験の練習。 青色申告についての学習。	【知識及び技能】 コンピュータ会計の意義と重要性について考え、説明することができたか。 【思考力、判断力、表現力等】 ビジネスにおけるコンピュータ会計の役割を理解したか。 【学びに向かう力、人間性等】 これを活用するための知識や技術を積極的に身に付けようとする態度を持ったか。	○	○	○	26
	定期考査(通常授業)			○	○	○	1
	簿記とは何かを考える学習活動により、体系的にコンピュータで行われる会計処理の意義と役割を理解する。 会計処理により作られる帳簿の必要性を理解する。	弥生会計を使用し、会計処理を行う。 コンピュータ会計検定試験の練習。 青色申告についての学習。	【知識及び技能】 コンピュータ会計の意義と重要性について考え、説明することができたか。 【思考力、判断力、表現力等】 ビジネスにおけるコンピュータ会計の役割を理解したか。 【学びに向かう力、人間性等】 これを活用するための知識や技術を積極的に身に付けようとする態度を持ったか。	○	○	○	23
	定期考査			○	○	○	1
3 学期	簿記とは何かを考える学習活動により、体系的にコンピュータで行われる会計処理の意義と役割を理解する。 会計処理により作られる帳簿の必要性を理解する。	弥生会計を使用し、会計処理を行う。 コンピュータ会計検定試験の練習。 青色申告についての学習。	【知識及び技能】 コンピュータ会計の意義と重要性について考え、説明することができたか。 【思考力、判断力、表現力等】 ビジネスにおけるコンピュータ会計の役割を理解したか。 【学びに向かう力、人間性等】 これを活用するための知識や技術を積極的に身に付けようとする態度を持ったか。	○	○	○	26
	定期考査			○	○	○	1
							合計
							117

